

◆視察日：5月24日～25日

◆委員：野村武勝、市村文男、

戸田見成、笹目雄一、関口輝門、
藤井敏生、福島ヤヨヒ、長島幸雄、
石井 旭、植木弘子、鈴木俊一、
村田春樹

◆視察先・内容：①神戸空港（神

戸市）②伊丹スカイパーク（伊丹

市）茨城空港が地域に根付いていくには、航空機の安定運航・旅客の利便性向上など改善する問題が多くあるため、地方空港の活性化の取り組みの状況調査を実施した。また、茨城空港のほか、航空自衛隊基地が所在する小美玉市は、戦闘機等の飛行訓練により周辺地域に多大な騒音被害を発生させている。そこで航空機騒音の軽減と周辺地域の生活環境改善を目的



伊丹スカイパークにて

善を目的に国・県・市の共同で整備した緩衝緑地整備施策の視察研修を実施した。

◆視察日：7月11日～12日

◆委員：野村武勝、市村文男、

大和田智弘、関口輝門、小川賢治、
福島ヤヨヒ、岩本好夫、長島幸男、
谷仲和雄、幡谷好文、木村喜一、
鈴木俊一

◆視察先・内容：①環境保全バイ

オガスプラント（鹿追町）

県内有数の酪農・養鶏地域である本市は家畜糞尿による臭気などの環境改善が求められている。また、再生可能エネルギーへの期待が高まっている昨今、市内における家畜糞尿の処理場は、エネルギー回収の技術的な課題や、導入コスト・維持管理コストなどの課題により市内に分散しており、堆肥化など限定的な利用に留まっている。このため、未活用となっている家畜排せつ物処理・環境改善・雇用創出・農業生産力向上などに寄与するバイオマスのエネルギーへの高度利用や事業化に向けた可能性調査のため視察研修を実施した。



環境保全バイオガスプラントを視察（鹿追町）

エネルギーへの高度利用や事業化に向けた可能性調査のため視察研修を実施した。

一般質問

市民の声を市政に



▲ 本庁舎の1階ロビーと3階の議場前、各総合支所の1階ロビーにTVMonitorを設置しています。

- ◇ 谷仲 和雄 (10ページ)
- ◇ 植木 弘子 (10ページ)
- ◇ 関口 輝門 (11ページ)
- ◇ 木村 喜一 (11ページ)
- ◇ 鈴木 俊一 (12ページ)
- ◇ 石井 旭 (12ページ)
- ◇ 戸田 見成 (13ページ)
- ◇ 福島 ヤヨヒ (13ページ)
- ◇ 村田 春樹 (14ページ)
- ◇ 長島 幸男 (14ページ)

平成29年度予算編成方針は

事業の「選択と集中」を進める

谷 仲 和 雄



Q 平成29年度予算編成について
予算編成方針は。

A 市長 歳入において普通交付税が減額され、歳出では社会保障に係る扶助費、新市建設計画に基づく事業推進に伴う公債費等が増える見込みから、引き続き、財政調整基金からの繰入れが必要となる。

そのような中、枠配分方式の予算編成のもと、事業の選択と集中を進めることにより、市総合計画の将来像を目指す。また、経常的経費等に係る各部への財源配分に当たっては、一般財源見込額を算出した上で、一定の削減目標を盛り込み、財源配分を行うこととする。

Q 29年度の重点項目は。

A 企画財政部長 学校規模配置適正化事業・広島駅前橋上化事業・広

域幹線道路整備事業及び3市1町で進めるゴミ処理施設広域化を着実に計画年度内に進められるよう重点項目として位置付けている。



(仮称)石岡小美玉スマートICアクセス道路整備事業起工式
 (H28年10月27日 小美玉市竹原地内)

Q 市債を発行するに当たって留意する点は。

A 企画財政部長 一般財源が減少の見込みとなる状況を踏まえ、公債負担比率の動向を注視しながらの市債発行となっていく。

女性や中高生による模擬議会の開催を

今後、検討していきたい

植 木 弘 子



Q 「子ども議会」の目的と効果、年齢の拡充若者や女性を対象とする模擬議会の開催について伺う。

A 教育部長 青少年の健全育成を図ることを目的に実施しており、市政に対し意見を述べるといふ議会活動の一部を体験することにより、政治や行政に関心を持つことができると考えている。

A 市長公室長 女性議会の開催については、「女性サロン」や男女共同参画推進委員会で提案し協議していきたい。また、青年等の議会についても検討していきたい。

Q 「読書通帳」導入の進捗状況と、図書館利用促進事業について伺う。

A 教育部長 図書館システムの更新時に検討するということが進めてきたが、費用がかか

るため導入に至っていない。効果等の調査研究も必要と考えている。利用促進については、祝日開館や閉館時間の延長、ボランティア団体による読み聞かせや除籍本の配布、移動図書館車の運行、ブックスタート事業、市内共通図書カードの普及等に努めている。

Q 建築物の外にある堆積物放置、いわゆる「ゴミ屋敷問題」の市の対応と、今後の対策として福祉部との連携を問う。

A 市民生活部長 市への苦情相談は1件で、継続的に訪問して処理の指導を行い、道路上にはみ出した堆積物は撤去させた。今後も解決に向け粘り強く改善を促していく。また、福祉部とも連携し行為者の話をよく聞いて丁寧な指導(心のケア)の検討もしていきたい。



決算の不用額、累増の根拠とその是正策は

予算執行管理を適切に進める

関 口 輝 門

Q 財政が厳しい中で、多額の不用額が年々増加している。不用額の発生根拠とその是正策を伺う。

A 企画財政部長 予算で不足が見込まれる場合は増額、余剰が見込まれる場合は減額で補正予算編成は可能であるが、補正予算に反映できず結果不用額となるケースもある。予算執行管理を適切に進める。

A 都市建設部長 工事入札差金及び用地買収・物件移転交渉が困難で未執行により不用額を生じた。工事等の早期発注と執行額の早期確定に努める。

A 福祉部長 過年度の実績を踏まえ予算計上をしているが、人口透析の更生医療費が大半を占めており、医療機関からの請求事務の処理状況に依存しているため、当該年度の支払い分を見込むことが難しい。更生医療の指定医療機関と調整を図り、

適正な執行管理に努める。

A 保健衛生部長 予防接種の委託単価や助成金に接種人数を乗じた予算措置である。感染症の流行度合いに対応できるようになっている。昨年度は、肺炎球菌予防接種・子供のインフルエンザなどの接種が少ないことが要因。過去の実績や傾向を加味し、感染症の流行時期に対応し得る予算措置をする。

A 教育部長 竹原小学校外周道路の用地取得が年度内に適わず未執行になった。また、美野里地区の4幼稚園の耐震補強工事の入札差金が不用額となった。精度の高い予算要求を心がけるとともに、適正な予算執行管理のもと、予算補正の時期を見極める。

A 副市長 予算の有効活用の観点から、不用額を少なくすることは重要であるが、ある程度はやむを得ない。各部署・各職員が執行に当って精査努力していると認識している。

飲酒運転事故ワーストの汚名を返上するには

飲酒運転を許さない環境の整備を図る

木 村 喜 一

Q 飲酒運転撲滅活動と併せて、市内の飲食店へ安心して来てもらえような仕組みづくりを提案するが、本市の商業振興と今後の公共交通の進むべき方向について伺う。

A 危機管理監 摘発状況を分析し、市民一人一人が飲酒運転の危険性、悪質性及び事故の悲惨さを認識する必要がある。石岡警察署、交通安全協会等と協力し、街頭キャンペーン等を実施する中で交通マナー遵守の呼びかけを行い、飲酒運転を許さない環境の整備を推進していきたい。

A 企画財政部長 提案については、今回の公共交通実施計画の料金徴収が国の許認可を受け実施しているものなので、国・県および関係機関と協議検討したい。飲食街振興と併せ、公共交通については目的、趣旨等を勘案しながら、現行のルート

や時間帯の中で利用促進策の一環として啓発を行い、今後も飲酒運転をなくす方策を検討していきたい。

Q 目まぐるしく変化する社会に対応するためには市職員の資質向上が必要と考えるが、職員研修の現状と今後の方針について伺いたい。

A 総務部長 内外での研修28種を企画し、特に今年度は、管理職級を対象としたマネジメント研修や若年から中堅層職員の能力向上を趣旨に半年の期間をかけたながら政策形成実践研究を実施し職員研修の充実に取り組んでいる。また、人材育成については日常業務から培われる経験などが相乗しながら徐々に形成されていくと考えており、各種の行政課題に柔軟に対処できる職員の育成に今後も注力していきたい。

財政調整基金の見通しは

枯渇しないよう 自主財源の確保と行政コストを縮減

鈴木 俊一



Q 市職員採用はどのような選考方法、選考基準で行っているのか。また、臨時職員はどのような定義づけで雇用しているのか。

A 総務部長 1次試験は教養試験と論文、そして適性検査とグループ討議、2次は各種試験の結果を総合して判断している。特に市職員としての適性を重視しながら、有益な人材確保に努めている。

臨時職員は、正規雇用と同様に地方公務員法の規定が適用される期限付きの任用職員で、各所管の効率的な業務処理を踏まえた任用計画により、人事・財政の両面で判断し雇用している。

Q ①市の貯金とも言うべき財政調整基金の今後の見通しは。②予算書、決算書は新公会計制度で見える化を促進させてはどうか。今後、

無償で貸与したものの(家賃収入等)を0円で表記することは可能か。

A 企画財政部長 ①平成27年度末で財政調整基金残高は約32億円となっている。28年度は8億8300万円繰入れされており、今後も繰入額が増え、戻せないと、数年で基金の枯渇が予想される。対策としては、歳入面では人口増加や企業誘致策等を進め、市税等の自主財源の確保、歳出面では行政コストの縮減等の歳出削減策を図る。②現金主義による会計制度のため難しい。

Q 美野里地域食材供給施設(キャトル・セゾン)は、本市の先進事例といえるが、何を指しているのか。また、誰のための施設か。

A 産業経済部長 多くの市民に喜ばれる施設となるよう望む。

第2次総合計画策定の進捗状況は

希望の持てる実行性の高い施策を検討している

石井 旭



Q 小美玉市第2次総合計画策定に向けた進捗状況と、どのような重点施策を考えているのか伺う。

A 市長 平成30年3月末で現行の総合計画が終了することに伴い、今年度より第2次総合計画に着手している。12月27日開催予定の第1回総合計画審議会で報告するため、市民アンケートや市職員の意識調査、並びに後期基本計画に係る施策達成度調査を行い、調査結果等を分析しまとめていくところ。

重点施策については、現行計画の達成状況や国、県の動向、そして市の将来像を見据えて実効性の高い施策を検討し、希望のもてる明るい将来を見据えて、総合戦略でも示したダイヤモンドシテイを目指せる総合計画を策定したいと考えている。
○ つくばエクスプレスの茨城空港への延伸を、ぜひ第2次総合計画に盛り込んでいただきたい。

Q 平成29年度予算編成において、防衛省関連事業の予算状況はどのようになっているか伺う。

A 企画財政部長 民生安定施設整備事業及び防音施設周辺防音事業については、防災無線放送施設整備事業や水道施設更新事業の継続事業のほか、玉里総合支所改修事業や小川・橘統合小学校整備事業等の新規事業について概算要求をしている。今後も消防施設整備事業や既存施設改修事業及び学校建設事業について活用していきたい。特定防衛施設周辺整備調整交付金については、同額程度の交付を見込んでおり、周辺道路整備事業へ充当していく。再編交付金については、平成29年3月末に交付が終了することから、来年度以降の交付金延長に向け引き続き努力していきたい。



実行性の高い第2次総合計画の策定を

現計画の検証と分析を十分に行い進める

戸田 見成



栗又四ヶ線工事の現場

Q ①スマートICと空港連結道路周辺計画の進捗状況は。②栗又四ヶ(5329号)線の進捗状況と今後の見通しは。

A 都市建設部長 ①現在約5割の用地買取を行い、10月末に起工式を開催したところ。県と連携し早期完成を目指している。周辺計画についても5月に政策調整会議を立ち上げ協議している。具体的な提案をしていきたい。②28年度は栗又四ヶ地内の地盤改良工事110メートル区間が11月に完了し、現在、石岡市小井戸地内の道路改良

工事を実施している。引き続き用地交渉を進めるが、全面開通までには4、5年は要する見込みとなっている。

Q 総合計画は、国が各自治体に対して計画行政の必要性を指導してきた大切な施策である。現在本市では第2次総合計画が策定されていると思うが、必ず実行される計画を策定していただきたいが如何か。

A 企画財政部長 現行の総合計画の施策の検証と分析を十分に行い、第2次総合計画に継承する施策や実行性の高い施策を市民や関係団体に伺いながら策定を進めていきたい。

【そのほかの質問】 ○それらの運営状況について ○茨城県定住圏協定について ○東京オリンピックと茨城国体の取り組みについて ○教育基本計画について ○(緊急質問)鳥インフルエンザについて

住民に耳を傾けた広域ごみ処理場を

意見を真摯に受け止め事業に当たる

福島 ヤヨヒ



Q 高齢者の交通事故が多発しているが、被害者にも加害者にもならないための対策は。

A 危機管理監 啓発活動のほか、自転車競技大会等の講習会への参加、いきいきドライバースミナーや交通安全総決起大会などを通じ、事故防止活動を推進していく。タクシー券の外出支援サービスの利用など、交通弱者の対策をしっかりと検討する。

Q 休日等における子どもの居場所づくりとして、児童館に匹敵するような施設はあるのか。児童公園と呼べる公園の使い方はどうなっているか。

A 教育長 公民館等の生涯学習施設のロビーは、学習・談話など自由に使える。小川公民館では、夏休み期間は会議室を開放している。また、希望ヶ丘公園や玉里運動

公園では、園路や子ども広場を開放しているのでご利用いただきたい。

Q ごみの資源化・減量化と新ごみ処理場建設について改めて伺うが、市としての取り組み、今後の在り方をどう考えているか。

A 市民生活部長 ごみ減量化、資源化はより一層の啓発に努め、生ごみ対策も実行していきたい。新施設に対しては市は約24%の負担になるが、循環型社会推進交付金、震災復興特別交付税を活用していく。

敷地の関係で白雲荘は解体するが、他の施設を利用していただきたい。交通手段も団体には送迎バスの利用も可能となるので、住民と話し合いながら進めていきたい。

A 市長 茨城美野里環境組合が一番古く、その対応のためにしっかりと話し合いを進めていくのでご理解いただきたい。

※スクエアステップとは？・・・高齢者の転倒予防、認知機能向上をはじめ、成人の生活習慣病予防などに効果のあるステップマットを使ったエクササイズ。

市内に雇用の場を生み出す企業誘致を

活動を強化し誘致できるよう努める

村田 春樹



Q 羽鳥駅橋上化、羽鳥駅周辺整備事業の進捗状況は。

A 都市建設部長 10月4日付けで都市計画決定、変更告示を行い、手続きが完了している。

現在は、橋上駅舎及び東西自由通路と東西駅前広場の工事が来年度から着手できるよう、本年度中の実施設計完了を目指し、作業を進めている。

Q 石岡小美玉スマートICと空港を結ぶアクセス道路に企業を誘致することは難しいのか。

A 産業経済部長 市議会の地方創生まちづくり特別委員会から、企業誘致や複合施設の設置等が提言され、政策調整会議において、誘致に必要な税制上の優遇拡充や新たな制度の整備に向け協議をしているところ。アクセス道路沿線は個人所有地であり課題もあ

るが、スマートインター付近や茨城空港北インター周辺でも流通系の企業からの問い合わせが来ているので、早く誘致できるように努めていきたい。

Q 女性が現在よりも活躍の場を広げられるような企業誘致はできないものだろうか。

A 市長 人口流出を食い止めるかぎは雇用の創出なので、総合計画及び小美玉まち・ひと・しごと創生総合戦略、ダイヤモンドシテイプロジェクトの重要な事業として位置づけ、女性が活躍できるような企業誘致活動を強化していきたい。



学校トイレの洋式化等、教育環境の向上を

整備手法等を工夫しながら着実に取り組む

長島 幸男



Q 高齢化が益々進む中、健康寿命を延ばすことが財政面の軽減につながるかと考えるが、本市の健康づくり等の諸施策は。

A 福祉部長 平成27年度に策定した「おみたま健康いきいきプラン」に基づき、生涯にわたる主体的な健康づくり活動や食育活動を実施できるような事業を展開している。



スクエアステップで健康づくり
「ゆうあいサロンかたくら」

Q 高齢化が益々進む中、健康寿命を延ばすことが財政面の軽減につながるかと考えるが、本市の健康づくり等の諸施策は。

A 副市長 市内小学校の洋便器率は44.1%、中学校は34.1%で、合わせた洋便器率は40.8%となっている。

Q 文部科学省の調査では公立小学校の洋便

器の割合は43.3%にとどまる。本市の公立中学校の洋式トイレの整備状況はどうか。

これまでの児童・生徒の安全を守るため、最優先で施設の耐震化を進めてきた。さらに今年度は各小学校への空調設備等の設置もできたので、今後は十分でなかったトイレの洋式化を優先的に図っていききたい。具体的には、小川及び玉里地区については学校の適正化計画に合わせ図っていく。また、美野里地区については大規模改修等に併せ進めていきたいと考えている。

財源確保や整備手法等を工夫しながら着実に進めていきたい。